

令和 4 年度政務活動報告書 (会派用)

会 派 名 自由民主党

代表者名 岡部 恒司

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p data-bbox="201 530 547 562">市政推進のための調査研究</p> <p data-bbox="201 1328 659 1400">■新型コロナウイルス感染症再拡大防止に向けた対策の推進</p>	<p data-bbox="707 530 1423 1279">                     仙台市を取り巻く環境は少子高齢化の急速な発展とともに急速に進展する人口減少の時代に加え、長引くコロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う資源、電気、食料品等の価格高騰が本市と市民の経済を圧迫し、特に生活困窮者の暮らしを直撃するとともに、中・小規模事業者を中心とした事業活動にも深刻な影響を及ぼしている。加えて中国や北朝鮮による、我が国に対する挑発的行為が活発化するなど、本市を取り巻く環境は年々厳しさを増している。一方で AI に代表されるデジタル技術の革新は日進月歩であり大きな変革期の時代を迎えている。このような時代において、本市は今一度市民の暮らしと安全を守り、住民の福祉向上と幸福度を最大化するという原点に立ち返るとともに、コロナ後を見据えた都市間競争に打ち勝つべく、時代変革の波に果敢に挑み、また「課題先進地」と言われる東北で唯一の政令指定都市として先進的なモデルを打ち出すなど、東北全体を牽引するため常に新たな挑戦をしていく役割がある。私達会派自由民主党は重点課題として以下の項目を掲げ調査研究を行いました。                 </p> <p data-bbox="707 1328 1423 2029">                     更なる感染拡大を防ぐためのワクチン接種体制を構築し、より効率よく接種できる体制の強化、飲食業をはじめとする事業者支援財政措置、デジタルスタンプラリーや事務・権限のあり方等に関する調査研究を行った。                 </p> <ul data-bbox="707 1489 1423 2029" style="list-style-type: none"> <li>●受診相談体制の充実をはじめ PCR 検査体制の効率化、拡大に関する調査</li> <li>●確実なワクチン接種の措置と安定供給に向けた柔軟な実施方法に関する調査</li> <li>●医療人材の確保など感染症対策等に関する取り組みの再構築と支援交付金等の財政措置充実に関する調査</li> <li>●中等・軽症患者の宿泊療養施設へのスムーズな受け入れ態勢や疫学調査体制の充実に関する調査</li> <li>●経営困難となっている中小企業への独自融資制度やテレワーク導入助成等のデジタル化の積極的推進の調査</li> <li>●雇用の維持と事業継続促進に関する調査</li> <li>●飲食、宿泊、文化芸術等への事業継続に向け、アフターコロナを見据えた市民生活、経済的支援策と整備に関する調査</li> </ul>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>■全世代型社会保障の充実</p> <p>■市民の安全・安心の確立を目指す施策の推進</p>	<p>●商店街等買い物回り促進事業の調査</p> <p>少子高齢化が進む中、「子どもを産み育てやすい社会」「介護」の問題に対し、良好な子育て環境づくりを進め、国が進める幼児教育の無償化に伴い、未就学児の健やかな学びと、安心して子育てできる環境の整備、高齢者福祉の充実にも取り組むなど、「全世代型社会保障」の実現に対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●待機児童解消に向けた幼保連携による環境整備、兄弟別園問題について調査研究</li> <li>●処遇改善による人材不足対策や質の確保の取り組み、幼児教育の充実促進について調査研究</li> <li>●妊娠、出産から子育て、また、一体的支援に関する体制整備の構築に関する調査研究</li> <li>●児童センター職員の充実など地域子育て支援強化について調査研究</li> <li>●NPO等による学習・生活サポート支援や、子供食堂の子供の貧困対策の推進について調査研究</li> <li>●介護サービス基盤と地域包括ケア充実による地域での支え合いに関する調査研究</li> <li>●障害者の就労支援体制づくりと障害者理解の促進について調査研究</li> <li>●医療や救急体制の充実など市民の健康増進体制づくりについて調査研究</li> <li>●保育所・幼稚園・放課後児童クラブ等におけるDXの推進についての調査</li> </ul> <p>自然災害等の様々な脅威から市民の生命と財産、生活を守り、防災・減災に戦略的な取組み、新型コロナウイルス感染予防をはじめとする公衆衛生対策、防犯対策や交通安全、空き家対策等に対する以下の調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●豪雨等をはじめとする災害時の即応の対応など、関連する法整備の推進に関連した調査研究</li> <li>●東日本大震災の被災者への支援と復興の完遂について調査研究</li> <li>●災害時の情報連絡体制の強化に関する調査研究</li> <li>●大震災の経験の伝承と防災環境都市としての発信について調査研究</li> <li>●復興事業の進捗に対応した国からの財源措置等について調査研究</li> <li>●消防団の充実強化、デジタル化に関する調査研究</li> <li>●交通指導隊の定員充足率向上に関する調査研究</li> </ul>

※この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>■確かな教育の確立と次世代育成策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●空き家対策など市民の安全・安心の拡充について調査研究</li> <li>●無電柱化を含む道路インフラの局所対策への調査</li> <li>●個別避難計画の作成など災害対応のデジタル化の推進への調査</li> <li>●改正災害救助法等の実施や対応に関する調査研究</li> <li>●通学路の点検を踏まえた安全確保に関する調査研究</li> </ul> <p>子どもたちがたくましく生き抜く力を育み学力向上に向けた取り組みといじめ問題への対応、特別支援教育などの教育を取り巻く諸課題に対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子供・子育て支援の新制度である認定こども園等の有効な活用と事業者との連携に関する調査研究</li> <li>●教職員定数をはじめ、指導手法や指導体制の充実など学校向上策の推進について調査研究</li> <li>●さらなる少人数学級の拡大推進について調査研究</li> <li>●幼保小連携の促進により未就学児接続への取り組みについて調査研究</li> <li>●学校施設やICTなど良好な教育環境づくりについて調査研究</li> <li>●いじめ問題の根絶に向けた取り組みの強化について調査研究</li> <li>●個別最適な学びを実現するためのGIGAスクール構想推進への調査</li> <li>●不登校の未然防止と民間フリースクールの連携、更に全中学へのステーション設置の促進への調査研究</li> <li>●コミュニティー・スクールの更なる推進への調査研究</li> <li>●就学機会が失われた方々のための公立夜間中学の開校への調査研究</li> <li>●特別支援教育(学級)の推進の充実について調査研究</li> <li>●社会教育施設の機能強化など生涯学習の充実について調査研究</li> </ul>
<p>■地域経済の活性化と経済政策の更なる推進</p>	<p>市民の生活や福祉、まちの魅力と活力の向上を支えるための基盤づくりと地場産業・中小企業の活性化や起業促進、交流人口の拡大、都市型の農業づくりなど、地域経済政策を加速させ、力強い雇用と消費を実現する為、以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産学官連携等による地場産業・ものづくり産業の支援について調査研究</li> <li>●市内大学連携による地域づくりと活性化対策に関する調査研究</li> </ul>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>■責任ある財政運営と財政基盤の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代放射光施設ナノテラスの整備促進と企業の研究部門集積にかかわる調査・研究</li> <li>●国家戦略特区や最先端のイノベーションを活用した競争力強化について調査研究</li> <li>●スーパーシティ構想実現への調査研究</li> <li>●JR 仙台駅や仙台空港、仙台港の更なる機能の強化・拡充に関する調査研究</li> <li>●魅力と賑わいにあふれる商店街づくりと、定禅寺、青葉通り、仙台駅前の再開発をはじめとする中心部の再生についての調査・研究</li> <li>●仙台の魅力発信とインバウンドを含めた東北の交流人口の更なる拡大、県内外の都市との連携について調査・研究</li> <li>●東北観光復興対策交付金等の期間延長や財政のあり方の調査研究</li> <li>●国際級会議（学会）の誘致促進について調査研究</li> <li>●担い手の育成・確保と農地の集積、集約化による生産基盤強化に関する調査研究</li> <li>●付加価値の高い都市型農業づくりや後継育成等について調査研究</li> <li>●RPA 導入、利活用を通じた行政手続き、市民サービス、地域・経済活動のデジタル化を推進するための調査研究</li> </ul> <p>持続的に市政の課題に対応し、責任ある財政運営と強固な財政基盤の確立に向けた税収増につながる長期ビジョン事業等への予算配分や、国に対しても、財源確保に努め、国からの税源移譲や課税自主権の強化などに対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地方交付税等の税源確保に向けた国へのはらたきかけと関連した調査研究</li> <li>●事業の厳選化や民間活力の活用などを通じた財政健全化について調査研究</li> <li>●徴収体制の強化による市税、国民健康保険料等の収納率向上について調査研究</li> <li>●公共施設マネジメントや市有建築物の長寿命化等の推進について調査研究</li> <li>●地方分権や大都市の財政需要等に対応した税源移譲の推進に関する調査研究</li> <li>●マイナンバー制度の活用促進と効率的な活用についての調査研究</li> <li>●国庫補助金等による重点的な財源支援に関する調査研究</li> </ul>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>■未来に向けて魅力ある街、まち・都市づくり</p>	<p>仙台市が未来に向け、地域が持つ力を最大限に発揮することができる環境づくり「杜の都」の環境や文化、都市インフラの充実に対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「杜の都」の環境保全や「グリーンフェア開催」等、緑あふれる街づくりの推進について調査研究</li> <li>●市有施設の長寿命化計画を進める為の維持管理等に関する調査研究</li> <li>●伊達文化を生かした都市の魅力づくりについての調査研究</li> <li>●きめ細やかな地域づくりの取り組みへの支援強化について調査研究</li> <li>●道路や交通、下水道、橋梁、無電柱化など市民生活を支える都市インフラの老朽化対策と充実について調査研究</li> <li>●市民の視線を取り入れた本庁舎並びに議会棟の建て替えに向けて調査研究</li> <li>●文化の振興、拠点となる音楽ホール、中心部震災メモリアルホール合築へむけ青葉山交流広場への早期建設について調査研究</li> <li>●温室効果ガス削減に向けた環境保全の推進とリサイクル等の資源化対策の調査研究</li> <li>●ゼロカーボンシティ取り組みへの調査研究</li> <li>●人口減少地域に対応した公共交通網整備に関する調査研究</li> </ul>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

# 令和 4 年度政務活動報告書（会派内用）

（令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）

会 派 名 **自由民主党**

議 員 名 **岡 部 恒 司**

政務活動テーマ	活 動 内 容
○高齢者社会の福祉対策	一人暮らし高齢者世帯、高齢者夫婦世帯の増加、認知症高齢者の増加により、地域特性にあった生活支援サービスや見守り等サービス提供の必要性を調査
○地域（生活）道路の整備	大規模震災・津波以外の大雨・台風等による災害対策、廃止された都市計画道路地域や危険区域内の安全安心確保のため、道路・歩道整備の必要性等の調査
○地元企業育成	地元企業の具体的な要望、支援策等の調査
○防災減災先進都市	被災地として被災他都市への支援策、全国へ情報発信の方法、意識調査
○道路施設の老朽化について	仙台市内道路・橋梁・老朽化の現状・具体的な対応策、今後の計画等を調査研究
○新設道路整備	都市計画道路整備計画の現状・進捗、今後の具体的な取り組み、新設の可能性、国の対応と考え方
○東北 77 市連携推進	東北連携による経済・観光・防災減災等の取り組み現状、今後の計画、課題、東北人の意識調査
○防災協定	他都市及び議会と協力、情報交換しながら、推進・提言
○シティセールス	東京事務所をシティセールスの拠点にするための課題、可能性、必要性の調査
○分煙の更なる推進	喫煙する人、しない人の共存を目指す施策の研究
	<p>☆上記項目について継続的に調査研究</p> <p>☆その他、各種団体、仙台市内における地元活性化対策等、調査やヒヤリングを行い活動</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和4年度政務活動報告書（会派内用）

会派名 自由民主党

議員名 庄司俊充

調査・研究テーマ	活動内容
<p>新型コロナウイルス対策</p> <p>自然災害に関する課題</p> <p>ロシアのウクライナ侵攻に際して派生する課題（防衛、食糧、電力調達、他）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済の振興、産業振興政策</li> <li>・地域経済の再生</li> <li>・地域のふれあいと活性化</li> <li>・自己、地域、行政、民間の防災対策について</li> <li>・未来に向けた災害時の対応（教育の中や地域などで受け継いでいく教訓）</li> <li>・障害者の社会参加の就労支援体制</li> <li>・介護予防と介護支援の充実</li> <li>・高齢者の健康づくり（生涯学習や市民農園など）</li> <li>・子育て支援施設、制度の充実</li> <li>・災害時の対応（要介護者、未就学児等支援が必要な方への在り方）</li> <li>・環境への負荷の少ない都市づくり</li> <li>・水、緑保全の対策推進</li> <li>・個性ある新産業の創生</li> <li>・にぎわいや豊かな生活文化をつくる産業の振興</li> <li>・屋上緑化</li> <li>・泉ヶ岳の活用のあり方</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス発生から世界経済が麻痺し、疲弊している中でロシアによるウクライナ侵攻が始まり、世界中で電力調達（エネルギー）の問題など平時では考えられないような事象が多く散見された。</p> <p>上記二件に関連した物価の上昇に伴い、ガス、水道、電気等の料金の値上げも多く見られた。日本の賃金はここ何十年と上がっておらず、物価の値上げに各家庭から不満や不安の声が多く見られた。</p> <p>地元経済活性のためにも、地元商工会等や地元企業団体などからも相談要望を受け出来る支援等の相談対応をした。</p> <p>引き続き、相談要望に関連した取り組みを当局へ積極的に働きかけ、先進的事例に取り組む他都市等の施策を調査する。</p> <p>（他都市視察）          令和4年10月14日～10月16日          出張先：高知県森林組合連合会（高知県南国市）          （有）さくらハイヤーグループ（高知県南新田町）          高知城歴史博物館（高知県高知市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県森林組合連合会の取り組みについて 高知県における CLT 建築物等の説明を受け、仙台市において今後の CO2 削減に向けた木材の利用に関して知識を深める為</li> <li>・高知市における地域交通・デマンド交通についての現在の状況について、曜日による利用者数の違い等の説明を受けた。</li> <li>・仙台市の地域交通・デマンド交通との大きな違い。 ☆仙台市での運営は地域とタクシー会社による共同運営。 ☆高知市では市が運営内容を決めている。（路線についても高知市が決めたバス路線がなくなったところを含め路線を決めたところを運行。）</li> <li>・路線運航にあたって、停留所となるスーパー等の駐車場の確保について</li> <li>・子供たちの通学に使う状況はどのようになっているのか。</li> <li>・いつも使っている方がしばらく乗らない等、見回り活動にもつながるのか。</li> <li>・歴史を活用した観光立県高知の取り組み</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業誘致</li> <li>・休耕田の利活用、市民農園の拡充</li> <li>・市街地の賑わい活性化</li> <li>・人にやさしいまちづくりについて</li> <li>・農業振興策について</li> <li>・新産業創出について</li> <li>・観光振興について</li> <li>・地方創生、一億総活躍社会実現に向けた取り組みについて</li> <li>・地方創生を見据えた今後の地域経済活性化事業の展開について</li> <li>・仙台市内パークゴルフ場の新設整備</li> <li>・農地の有効活用と農と食の連携</li> <li>・スポーツツーリズム</li> <li>・いじめ問題</li> <li>・商店街活性化事業について</li> <li>・外国人観光客誘致について</li> <li>・まちの魅力の発信、広報について</li> <li>・高齢者や子供を地域で見守る環境づくり</li> <li>・8050 問題</li> <li>・引きこもり、自死問題</li> <li>・ゴミ減量</li> <li>・地元産木材の積極的な活用</li> <li>・音楽ホール、文化施設について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>地域や各種団体への聞き取り・現地調査や陳情要望等についても当局他、議会や委員会の質問等で行った。</p> <p>研究テーマについて市民や各種団体への訪問調査、懇談会の開催や参加を重ねて広報広聴活動を行っている。課題や問題点などを抽出し、議会の場での議論や要望、提案活動、働きかけなどを行っている</p>
--	--

※ この報告書は収支報告書に添付してください。



# 令和 4 年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 菅 原 正 和

政務活動テーマ	活 動 内 容
犯罪被害者基本条例の制定	他都市の状況を調査し条例制定の基礎資料とする 神戸市の犯罪被害者条例の概要と制定後の 調査
仙台市震災メモリアル施設整備	人と防災未来センター。視察により、本市のメモ リアル施設建設の参考とするために視察を行った
リニアコライダー建設推進	建設推進のための共同委員会の立ち上げをし、建 設を推し進める会議に出席し建設を推進していく
遺品整理業者の許可制度	先進事例の福岡市の認定業者及び福岡市役所環境 局に許可の概要と効果について話を伺い、今後の 本市の対応について参考とするため
議員勉強会	議員勉強会を受講し、今後の議員活動、質問事項 の参考とするため
他都市の議会等	<p>名古屋市の円形議場を視察し、新庁舎建設の参考 とするため</p> <p>【視察】            【高知県森連会館】視察（高知県森林組合連合会 事業 部 事業課長）            【さくらハイヤーグループ（有）さくらハイヤー】視察            ・高知市における地域交通・デマンド交通について            の現在の状況について、            【高知観光戦略について】            「歴史を活用した観光立県高知の取組み」            【高知歴史博物館】            ・地域の歴史資料の保存と継承等            【高知城】            観光戦略の中核としての位置づけである高知城。本            市の歴史観光政策に資する目的にて視察</p> <p>☆上記活項目について、継続的に調査研究            ☆その他、各種団体、仙台市内における地元活性化            対策等、調査やヒヤリングを行い活動</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和 4 年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党  
議 員 名 高 橋 卓 誠

政務活動テーマ	活 動 内 容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯罪被害者支援条例について</li> <li>・ 緑化フェアについて</li> <li>・ 姉妹都市交流のあり方について</li> <li>・ 音楽ホール整備について</li> <li>・ ゴミ問題について</li> <li>・ 官民連携について</li> <li>・ ウォークアブルなまちづくりについて</li> <li>・ インアウトバウンドについて</li> <li>・ グローバル人材育成について</li> <li>・ アーツカウンシルの構築について</li> <li>・ 伊達政宗公騎馬像について</li> <li>・ 子どもの遊び場について</li> <li>・ 児童館のあり方について</li> <li>・ 保育環境の改善策について</li> <li>・ 眠育の推進について</li> <li>・ 育児ヘルプ事業について</li> <li>・ 産後ケア事業について</li> <li>・ 学校問題について</li> <li>・ 道路の安全策について</li> <li>・ 客引き問題について</li> </ul>	<p>市政に関する市民からの要望・意見を聴取し、現地調査、実態調査を行い、関連局局長、部長、課長や職員と懇談し、又、議会、委員会、調査特別委員会等で発言し、問題解決に努める。</p> <p>新聞、インターネット、専門書や資料、又、有識者からの意見聴取を行い研究し、仙台市政に活かせる施策等を提言、提案を行う。</p> <p>問題事例や施策については、他都市事例も現地調査や実態調査も行う。</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

# 令和 4 年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 内 藤 良 介

政務活動テーマ	活 動 内 容
○側溝清掃による冠水対策	○側溝清掃による浸水被害軽減のため、市の予算に負担をかけずに行う方法について市民の皆様や地元中小企業の方々との意見交換を行い、太白区役所と協力してこのシステム構築の為に企業・町内会・区役所と意見交換や現地調査を行った結果をもとに、実際に行うための問題点や課題について調査・議論を行った。
○地域交通の必要性	○現在地域交通のない地域において必要としている地域があるか市民の皆様と意見交換と現地調査を行った。 ○現在地域交通を導入しようとしている市民の方と意見交換・現地調査を行い、問題を認識。 ○中々認識をして頂けない理由や問題について調査を行い、広報活動に努めた。
○若者の地元定着について	○地元大学生とコロナ禍の状況も含めた地元定着の問題について意見交換を行い、要望等を伺った。 ○地元中小企業の方とコロナ禍の状況も含めた新規雇用の問題について意見交換を行った。 ○経済局と地元大学生と仙台のさらなる若者の定着について意見交換を行った。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○自転車事故問題について	<p>○地元大学生と自転車事故問題解決について意見交換を行い、現地調査を行った。</p> <p>○杜の都の自転車プランの改定にあたり特に問題となっているヘルメット着用の必要性について問題になっている事の調査を行った。</p> <p>○様々なルールが変わる中、市民の皆様の認識不足を受け、広報や調査を行った。</p>
○いじめ問題について	<p>○いじめ問題を解決していくにあたり、本市の35人以下学級の事や、どのようにしたらいじめの問題解決につながるのかを、専門にしている方との意見交換や現状の問題について調査研究した。</p> <p>○いじめ問題の解決において、いじめられる子を減らす為にはなにが問題となるのかを、いじめにあった方等と意見交換を行った。</p>
○地域問題として	<p>○地元の道路状況との問題点について市民の方と意見交換を行った。</p> <p>○南仙台駅の高架化や橋上化について地域の方と意見交換と現地調査を行い、今後どのようにしていく必要があるのかを調査・研究した。</p> <p>○市民の皆様との現状問題等の意見交換を行った。</p> <p>○経済回復に向けた問題等について意見交換を行った。</p>

政務活動テーマ	活 動 内 容
○防災について	<p>○マイタイムライン活用に向けて市民の方々と意見交換を行った。</p> <p>○教職員のかたや協力頂いている企業等と子供たちの防災教育について意見交換を行った。</p> <p>○他都市の防災教育等を調査し、本市においてどのように出来るのか調査研究を行った。</p> <p>○震災遺構荒浜小学校等防災を伝えるためや、経験のない子供たちに伝えるための方法を意見交換し、調査研究を行った。</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和 4 年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 千葉修平

政務活動テーマ	活 動 内 容
議員立法により、太陽光発電施設の規制条例を成立	自民党会派を提案会派とする超党派の政策立案チームを立ち上げ。自身も委員の一人として、議論等に参加し、令和5年第一回定例会にて、条例を可決した。これまで6回にわたり、議会で取り上げてきた一つのテーマを実現することができた。
3歳児健診における屈折検査導入	令和4年第四回定例会で提案。令和5年度予算がつき実現することができた。
仙台藩伝統の門松	民間発のプロジェクトを後押しする形で、本市庁舎にも仙台藩の伝統門松を設置するよう、令和5年第一回定例会で提案。「市役所庁舎においてもご覧頂けるよう取り組みたい」との市長答弁を頂き実現へ。
仙台経済の創成、若者の良質な雇用創出	仙台市スタートアップ戦略、次世代放射光施設を活用したりサーチコンプレックス形成等について、一般質問等で提案

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>高度経済成長期に造られた宅地の老朽化問題</p>	<p>特に、太白区松が丘、青山間の大規模老朽化擁壁等の視察を、市役所担当者と地元町内会と連携し実施。また、令和4年第二回定例会で提案。宅地耐震化推進事業の進捗状況の確認。この内容についての報告会を地元町内会と実施。</p>
<p>東アジア情勢を考慮した市民の安全確保</p>	<p>令和4年第三回定例会の一般質問にて、大規模地下緊急一時避難施設の現状を確認。 令和5年第一回定例会の一般質問にて、本市上空を通過した中国の偵察気球に対する情報共有体制について質問。</p>
<p>電気料金、物価高騰等について</p>	<p>令和4年第三回、第四回定例会にて取り上げた。</p>

# 令和 四 年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 猪又 隆広

政務活動テーマ	活 動 内 容
○物流業界への原油価格高騰対策	<p>・新型コロナウイルスとの戦いが続く中、追い打ちをかけているのが、物価高と原油価格高騰である。そのことは、私たちの生活に大きな影響を与えている。本市ではこれまで、バスやタクシーといった公共交通を担う事業者に対し支援を行ってきたが、私たちの生活に欠かせないのが物流である。コロナ禍においても、エッセンシャルワーカーとして安定した物流の確保等、大切な社会基盤としてその役割を果たしてきた。そんなトラック業界も昨年後半より、全国的にトラック運輸会社の倒産が相次ぎ、原油価格の高騰はもとより、製造業の海外シフトや人口減少の影響から国内貨物輸送量の減少などで苦しい状況が続いている。そのような中、国からの地方創生臨時交付金を活用し、トラック事業者に直接的な支援を行う自治体も出てきている。市長にも直接トラック業界の現状を聞いてもらうべく、要望と支援のお願いを行ったが、市民の暮らしを支える物流というライフラインを守るためにも、トラック運送事業者への事業維持・存続のための支援が必要であると考えます。</p>
○石綿(アスベスト)に関する本市の対応	<p>・大気汚染防止法が改正され、令和 3 年 4 月 1 日より建築物の解体・回収・リフォームなどの工事対象となるすべての部材について、アスベストの事前調査が必要となった。これまでは吹き付け石綿や石綿を含有する断熱材や保温材が規制対象となっていたが、発じん性が比較的低いとされるレベル 3 建材、石綿を含有する成型板や仕上塗材、セメント管なども新たに対象となった。これまで建材等に広く使用されてきたアスベストは、肺がんや中皮種などの原因となることから、平成 18 年 9 月より輸入・製造・使</p>



用などが禁止されている。今回の大気汚染防止法の改正を受け、改めてアスベストに対する市民への周知が必要である。特に、建築物・工作物の解体・改修の工事現場において、法律で定められているアスベストの事前調査結果を掲示していない業者がいると、しっかりと取り組んでいる事業者からも声が寄せられている。しっかりと周知する必要がある。また、アスベストの事前調査結果の報告が義務化されてから担当課には1日4～5件の相談が寄せられていると聞いている。HPのQA更新や積極勸奨といった取り組みも行うべきと考える。

○ ICT 教育の推進

・本市では現在、「仙台市学校教育の情報化推進方針」の3か年計画のもと教育の情報化を進めている。ICTを活用した授業の推進を図るため、授業支援や機器操作支援等を行うICT支援員を配置しているが、その活用方法をしっかりと定めるべきであり、現場の教職員との連携を図るべきと考える。ICT学習環境整備も重要である。文部科学省のオンライン学習システム「MEXCBT」やその情報を可視化してその他のデジタル教科書、デジタル教材と紐付けるプラットフォームである学習eポータルへの導入の幅を広げていくべきと考える。

○教員不足におけるペーパーティーチャーの活用

・教員免許更新制を廃止する改正教育職員免許法が国会で成立した。この改正で、大きな注目を集めているのが、免許更新制度導入前となる平成21年度以前の旧免許状を持つ人で、現在教師をしていないペーパーティーチャーの存在である。現場への職員定数は適正ではあるが、団塊の世代の退職や、産休や育休で休まれる方が増える中で、代替講師が安心して確保できない現状もあり、講師が配置されるまでの間、教務主任や教頭が担任業務を行っている学校も散見され、現場の疲労感は大きいと聞いている。そういったことからペーパーティーチャーを活用した教員不足に取り組むべきと考える。併せてこれまで教職の現場にいなかったことから、教職についてもらいためのペーパーティーチャー研修講座を実施すべきである。

○指定避難所の機能強化とQOL向上

・指定避難所における災害発生時に迅速に避難所の鍵を開けることができる「地震連動自動開錠かぎ保管庫」を設置すべきと考える。特に冬場の寒い季節には、その効果は大変有用と考える。また、避難所のQOLの向上も重要な課題である。特に、トイレに関しては本市でもトイレの洋式化や組み立て式・携帯用トイレの備蓄を増やすなど更なる取り組みも必要である。また、段ボールベットやプライバシーを守るための簡易テントなどを設置することで、避難所での安心面や地べたで寝ること細菌やウイルスを吸い込みやすくなることの解消につながることから、備蓄品の充実をさらに本市として進めていくべきと考えている。

○今泉清掃工場の今後のあり方の検討

・本市で一番歴史のある焼却処理施設である今泉清掃工場の建て替え工事を行うべきである。平成29年10月～令和3年3月の工期で基幹改良工事を実施し、施設の長寿命化に取り組み、約10年は既存の施設を活用していくという方針が示されたわけだが、言い換えればあと10年しかない中で、建て替え等今後の方針を示す必要がある。しっかりと今から計画を立て、地域住民にも愛される施設として、建て替えを前に進めるべきである。

○子どもの遊び場環境の充実

・本市では令和2年度仙台市遊びの環境に関する調査・研究をアンケート形式で実施し、遊びの環境に関する施策に反映をさせようという取り組みを進めている。また、本年度から遊びの環境に関する実証実験「あ・そ・び・ば仙台」を実施しており、乳幼児の親子から小学生程度の子どもを対象に、場所や季節を変えながら、普段とは違う遊具での遊びや子どもの自由な遊びを促すプレーリーダーの配置を行ってきた。そのうえで、本市としてこれらのアンケートや実証実験を通じて、子どもの遊び場環境の充実のゴールをどこに設定しているのかその方針を示すべきと考える。

これらのことから、既存の遊び場の環境を今一度考える必要がある。日常的な遊び場として挙げられる街区公園・近隣公園などの身近な公園が本市には約1,800カ所ある。そ

のうえで、六郷地区のような公園密集エリアや南材地区のような公園空白地のエリアがあり、同じ若林区内でも子どもたちの大切な遊び場である公園の課題に大きな隔りがある。そういった点にも目を向け、地域ごとの課題に取り組む必要がある。また学校の校庭も重要な遊び場であるが、校庭を「遊び場開放」としての利用ができる、実態を知らない校長先生や学校管理者が多くいると聞いている。子どもの遊び場の選択肢の一つとして、学校の校庭を遊び場として開放できることを周知すべきと考える。また、河川も大切な遊び場である。現在は、危険といったことで近づかないように指導しているが、プレーリーダーや川での活動団体の方々、一緒に参加できる地域の方々などの大人の目があればクリアできると考える。様々な視点の中で、子どもの遊び場環境の充実を考えていき、しっかりとビジョンを持った子どもの遊び場をハードソフト両面から施策として考えていくべきである。

○不登校特例校への支援

・本市でも学校法人ろりぼっぷ学園が坪沼小学校の跡地利活用の一環として、不登校特例校を令和5年4月に開校すべく現在準備を進めている。私立の学校ではあるが、この不登校特例校に通う児童生徒は、大半がもともと公立の学校に通っていた子どもたちであり、本市に住む子供たちが多い。そういった点からも、学校の授業等で社会教育施設を無料、一部減免で利用できるようにすべきである。また、坪沼という土地柄、市内中心部からはそれなりに距離がある。自力で来られるご家庭以外の学校までの移動は学園側が準備するバスを利用することになるが、こういった交通費への補助も必要ではないか。また、住宅支援も必要である。坪沼地区は、市街化調整区域にも設定されておりますが、ケースによっては将来開発の許可等を柔軟に考えることも必要と考える。更なる移住・転居支援も行うべきである。例えば市営住宅の優先入居などもその一つである。もともと在籍していた児童をよりよく知る専門性の高い職員と不登校特例校との情報共有も必要となる。さらに、不登校特例校に通いたい保護者からの一番多い声は、

<p>○地下鉄の車両故障の原因究明と再発防止</p>	<p>私立特有の財政負担である。せめて公立並みに通わせることができるような財政支援の仕組みを本市でも検討すべきと考える。</p> <p>・地下鉄の車両故障が頻発している。8月の車両故障では2時間40分後に運転が再開しているが、ここまでかかった大きな要因の一つとして、後続列車を故障車両に連結し、押し出して泉中央まで運ぶ際の連結作業が上手くいかなかったとのことである。今後の訓練の充実と連結部分の経年劣化部分の点検や運転再開までの間の代替え輸送の充実など見直すべき課題は多い。</p>
<p>○今後のイクスカのあり方</p>	<p>・イクスカの基本ポイントが収支の悪化が理由で令和5年3月末に終了することが表明された。地下鉄とバスの乗り継ぎポイントに関しては継続されますが、乗り継ぎをせずバス・地下鉄単体で利用している市民は、イクスカを持つメリットが薄くなると考えられる。そのことから、地域連携ICカードとしての機能を高めるべきである。例えば、イクスカへのSuica機能を持たせることやキャッシュレス機能を持たせるなどその価値を高めていくべきである。また、イクスカから得られる様々なデータを分析活用し、積極的な地域交通の導入や経営環境の改善に努めるためにDXの推進を推し進め、市民にとってよりよい公共交通としての充実を図るべきである。</p>
<p>○文化施設の大規模改修</p>	<p>・現在、イズミティ21が令和6年3月31日まで若林区文化センターが令和5年4月から始まるが、市内の大型ホールが2館使えないことにより、各学校の吹奏楽部や合唱関係者から定期演奏会の開催場所、吹奏楽コンクールの予選の場所の確保ができずに、市外のホールを利用しており、子どもたちの移動に困難が伴っていると聞いている。各施設の大規模改修は長寿命化の観点からも致し方がないが、大規模改修を前倒しにできる部分があるならば少しでも調整して市民ニーズに資するべきである。</p>

○真なる海浜エリア活性化と震災の風化

・東日本大震災からまもなく 12 年を迎える中で、甚大な被害を受けた東部沿岸エリアでは跡地利活用事業による誘客施設の整備をはじめ、新たな海浜エリアのデザインが描かれようとしている。現在本市では、「(仮称)海浜エリア活性化ビジョン」を策定中であるが、実効性が伴わなくてはいけない。施設や名産品などの目に見えるものばかりの羅列ではなく、例えば、海浜エリアの自然環境など意識しなければ見えないものも多く存在する。住民の皆さんが繋いできたその土地その土地の地域文化も多くある。被災エリアの一つである井土地区では、震災から 10 年を経て井土まちづくり推進委員会が立ちあがった。今後も、井土地区に住む住民や元住民に寄り添いながら息の長い支援を継続していくことはもとより、地域の意見をしっかりと形にしていく取り組みが必要である。震災の風化の取り組みの一つとして、仙台市職員が被災地に足を運び、被災地に目を向ける取り組みを市役所全庁として取り組むべきである。

○罹災証明書発行における期限延長と電子申請

・災害発生後に建物などに被害を受けた際に、罹災証明書が発行されるが、そのあり方は検討すべきである。特に発行期限については、本市は 2 か月と短い。多くが 6 か月以上であり、その根拠は災害救助法の住宅の応急修理の救助期間の定めには、国の災害対策本部が設置された場合には、災害発生の日から 6 か月以内まで期間を延長するとあることから、他都市では 6 か月以上設置している自治体が多い。そういった点からも、罹災証明書の申請期限の延長は一考の価値があり、申請期限を見直すべきである。また、本市も行政のデジタル化を進める中で、罹災証明書の電子申請を導入すべきと提案をする。

○実態に即したひきこもり調査と支援センター

・本市では、平成 28 年に民生委員児童委員を対象に、ひきこもりのアンケート調査を実施しておりますが、調査から約 7 年が経過し、40 代 50 代の当事者やその保護者からの相談が、コロナ禍と相まって急増をしているものと考えられる。40 代以上の大人のひきこもりに関する相談が

年々増加している中、ひきこもりの実態を示した大規模な調査が必要となる。調査の内容はより正確であり、その調査はこれまで国で行われているような推計調査ではなく、実数調査を実施すべきである。江戸川区では、実数調査を行い、その実態の把握に努めるとともに、調査を通じてひきこもり当事者やその家族と行政がつながることができたという成功事例を導き出しています。大規模調査をするためにも、既存の受け皿となるひきこもり地域支援センターの機能強化も必要となる。本市では、若林区遠見塚にある本市のひきこもり地域支援センターを運営する社会福祉法人わたげ福祉会がその役割を担っているが、現場に即した人員確保も必要である。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

# 令和四年度政務活動報告書

(令和四年4月1日～令和五年3月31日)

会 派 名 自由民主党  
議 員 名 渡 辺 博

政務活動テーマ	活 動 内 容
○財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地方財政と政府政策との関係性、「新三本の矢」地方創生広域連携・公共施設の集約化・複合化、歳出の削減効果</li> <li>○ふるさと納税の活用策</li> <li>○公営企業の効率化</li> <li>○市債の独自発行の可能性</li> </ul>
○経済活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治体の経済政策の比較検討、本市の採用すべき政策の調査</li> <li>○外国資本の導入の可能性</li> <li>○スタートアップ企業の支援</li> <li>○国と自治体との関係、官民連携の在り方調査</li> <li>○市民と行政の協働の持続可能性の確保</li> </ul>
○復興の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人口減少とまちづくりに関する調査</li> </ul>
○まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民協働の可能性と陥穽</li> <li>○多様な主体とまちづくりの在り方</li> </ul>
○子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援制度と自治体行政 現行制度の概要と新制度の概要の関連性、利用者側から見た新制度の在り方、市町村議会の課題と事業計画の在り方、乳幼児医療制度の充実</li> <li>○切れ目のない子育ての検証</li> <li>○ひとり親家庭への支援の在り方</li> <li>○学校給食の無償化の課題解決と実現への取り組み</li> </ul>
○議会改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地方分権改革と地方議員の地位、議員の報酬の在り方、議員の役割と活動の活性化</li> <li>○議員権能の強化と市民福利の向上</li> <li>○二元代表制の活かし方</li> </ul>
○防災危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○震災メモリアル建設と経験の伝承</li> <li>○不断の研究と訓練</li> <li>○国民保護法の運用と市民の安全の確保</li> </ul>
○議会改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地方議会の役割、東日本大震災と議会、危機管理のフェーズ、事前対策、復旧時の対応、防災対策基本条例(継続)について、ミサイル対応、国民保護法と自治体</li> <li>○震災時の議会の在り方の検証</li> <li>○議会の政策立案機能、公職選挙制度の研修と充実</li> <li>○市民の議会理解の促進と権能の拡大</li> </ul>

○高齢者政策	○高齢者施設における CAPP(動物介在活動)の効実態調査、仙台市の政策への実現性の調査 ○減少傾向にある老人クラブの活性化策調査、地域貢献 ○高齢者の社会参加
○図書館行政	○利用活性化政策、宮城野図書館利用実態調査、仙台メディアテーク図書館視察、メディアテークの検証と今後の可能性 ○蔵書の管理と市民要望への対応
○市有地の有効利用	○市有地の有効利用と施設の複合化の効果と問題点、市民サービスの在り方(公園の利用)
○公文書の管理と利用	○先進都市公文書館視察。基礎調査の上での本市での活用 ○公文書の管理と活用
○高齢者と生涯スポーツ	○ダンス、合気道、ソフトテニスにおける高齢者の実態調査と意見聴取、政策立案者との協議と実践
○教育	○教育再生に関しての方策調査、標準学力検査の検証と活用 ○教職員の役割の認識と実践 ○青少年の健全育成、地域協力の確保策の検討 ○科学技術教育の充実

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○自治体予算の在り方	○予算の考え方、歳入歳出のポイント、財政診断のノウハウとこれからの自治体財政運営について継続調査
○政務活動費	○政務活動費の再検証と制度の在り方、関連条例の見直し等 ○評価と充実
○地域包括ケア	○地域包括ケアシステムの市民理解と行政の役割 認知症対策調査、地域団体との連携の在り方 ○検証と改善
○国民健康保険制度	○国民健康保険制度の理解と今後の運用について ○制度運営の限界と可能性 ○健全運営と国の支援の在り方
○公園整備と利活用	○公園空白地における整備手法の研究 PPF1 ○時代の変遷に対応した公園法の在り方についての調査 ○学びの公園エンターテインメントの公園
○介護保険の現状と自治体の役割(研修)	
○自治体財政研究 継続	○自治体リーダーの在り方と評価 ○自治体財政分析 ○人口減少社会の地域経営  ○日本の地域再生に於ける米国型 TPP の活用の可能性 ○グラスツールと社会変革 (日本改革のうねりとその役割) ○地方財政にやさしい環境政策
○経済活性化	○商店街の対策(振興、後継者育成、地域連携) ○新産業育成 ○未来型放射光施設の活かし方 ○起業と継続支援の在り方の研究



○安心安全のまちづくり	○防犯カメラ、一斉メールの運用の可能性。安心安全まちづくり基本計画調査 ○風水害対策の具体的取組みについて ○国土強靱化計画 ○国民保護法の実際の運用への取組み ○冬季の除融雪対策について ○警察署と交番の適正配置
○都市の在り方	○仙台型大都市像の構築の検証(継続)、特別自治市の実現の方策
○市民協働	○審議会の在り方、委員の選任の工夫
○綱紀	○朝礼の活用と効果 継続 ○公益通報制度の活用と運用について ○始業就業時間の見直しと効果
○人材育成	○仙台市職員の人材育成、研修の在り方 ○海外研修の充実 ○大学など高等教育・研究機関との連携
○働き方改革	○教職員を含めた働き方改革
○文化行政	○伝統文化振興 ○演劇振興 ○クラシック音楽振興 ○ジャズを始めとしてポップスの市民生活に与える可能性と活かし方 ○音楽ホールの検討, 県市の役割分担 ○城下町仙台のブランド構築の可能性 ○能楽の振興策の研究

政務活動テーマ	活 動 内 容
○新庁舎議会棟建設	○新庁舎議会棟の建設検討、市民利用の可能性の検討 ○定禅寺通りと新庁舎の一体的開発と活性化についての考察と実施
○仙台駅東地区開発	○仙台駅東地区の総合的な活性化対策の研究 ○まちづくり協議会の活用 ○活動区域の拡大の検討 ○宮城県所有地との連携
○グリーンフェアに対する取り組み	○仙台市の緑政の総括と今後の活用 ○仙台藩時代からの緑政の活用 ○グリネストシティ実現の可能性
○大学後の活用	○産学官金連携 ○行政課題解決のための取り組み ○仙台市職員の研修のための活用

# 令和4年度務活動報告書（会派内用）

会派名 自由民主党

議員名 赤間次彦

調査・研究テーマ	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある都市づくり</li> <li>・障害者スポーツについて</li> <li>・障害者施設について</li> <li>・地域経済の再生</li> <li>・災害に強いまちづくり</li> <li>・高齢者・障がい者・子育て等の支援について</li> <li>・豊かな農業施策の確立、食の安全について</li> <li>・期待を担う青少年の、健全育成と教育充実について</li> <li>・文化アミューズメント、施設等について</li> <li>・音楽ホールについて</li> <li>・地域ブランドについて</li> <li>・都市整備（都市計画道路、都市機能）について</li> <li>・交通事業</li> <li>・相互交流事業について</li> <li>・いじめ問題</li> <li>・パークゴルフ場の開設・利用・整備、運営経営体、利用者の反応等の調査</li> <li>・シティセールス</li> <li>・インバウンド、アウトバウンド</li> <li>・国際姉妹都市交流について</li> <li>・高齢者の労働参加について</li> <li>・地球温暖化対策</li> <li>・企業誘致と雇用</li> <li>・市民待望の文化・スポーツ施策の充実について</li> <li>・教育の充実について</li> <li>・新型コロナウイルス対策</li> <li>・医療提供体制について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査</li> <li>・資料収集</li> <li>・関係者からの聞き取り</li> <li>・先進事例の調査</li> </ul> <p>（他都市視察）            令和4年10月29日～10月31日            出張先：第22回全国障害者スポーツ大会（栃木県）            カンセキスタジアム栃木（宇都宮市）            TKCいちごアリーナ（鹿沼市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツの現状と課題について</li> <li>・障害者スポーツ振興</li> <li>・障害者スポーツ活動の充実について</li> </ul> <p>研究テーマや、時事的な問題等について市民や各種団体への訪問調査、懇談会を重ねて広報広聴活動を行っている。課題や問題点などを抽出し、議会の場での議論や要望、提案活動、働きかけなどを行っている</p>

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・地域商店街の経済助成と活性化について</li><li>・公営企業の民営化や官民連携等について</li><li>・その他</li></ul> |  |
|--|--|

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和4年度政務活動報告書（会派内用）

所属会派名 自由民主党

議員名 鈴木 勇治

政務活動テーマ	活 動 内 容
先進都市のまちづくり	<p>（他都市視察）                      令和4年8月22日（月）～8月23日（火）1泊                      出張先：神戸市役所、神戸市会                      神戸液化水素負荷役実証ターミナル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市について動向を調査</li> <li>・令和元・2年度指定都市協議会議長研修会</li> <li>・その他</li> </ul>
環境とごみ問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷低減策の充実の働きかけを行った。</li> <li>・家畜糞尿、食料品の食べ残し、農業生産物等のメタンガス化施設の普及、坪沼地区での可能性を調査した。また学校給食センター食用廃油の活用策を展開した。</li> <li>・同施設の適正立地の模索を行った</li> <li>・太陽光発電所事業の適正立地と活用及び規制等について研究をした</li> </ul>
高齢者介護基盤の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の入所施設の整備促進を進める。</li> <li>・介護事業者の団体及び介護を続ける家庭等の訪問調査を行い、各事業者と連携の上、当局に要望活動を行った。</li> <li>・高齢者、障害者等の食事自立支援サービス事業の充実・・・事業者の調査を行い当局に改善を求めた。</li> <li>・適正立地の模索と安定経営と運営維持についてヒアリングをおこなった</li> <li>・次期保険計画の調査について</li> </ul>

大都市制度の在り方及び地方都市の  
権限の拡充

・住民ニーズに的確に応え、市民にとってより充実したサービスを提供していく為には、権限、財源をもつことが不可欠である。また早急な復興に向けては、スピード感も欠かせないこともあり、指定都市市長会で検討を進めてきた特別自治市を含め、新たな大都市制度実現に向けて市民の議論を喚起し積極的に取り組んだ。

議会改革

- ・開かれた議会のあり方
- ・市議会の ICT 化

・開かれた議会の在り方についての進化について、また議会の ICT 化の進捗について、他市議会との情報収集、必要性の懇談を行った。

都市交通施策と基幹道路の安全確保  
交通弱者対策と狹隘道路の安全確保

・交通安全施設業協同組合との勉強会や懇談会を重ね現状と改善策を市当局に提言した。  
・狹隘道路の改善について、土地家屋調査士の活用について同協会会員との勉強会に参加  
・通学路の安心安全対策の徹底を求め、現場調査、学校や保護者のヒアリングなどを行った。

引き続き雨水被害と 2022.3.16 地震の  
被害関連

- ・農業基盤の被害復旧
- ・道路等生活環境の復旧促進
- ・各種支援策の円滑な導入
- ・風水害時の避難計画と避難所の在り方

・取り残された被害個所の調査、被害者からの聞き取りを行い、農業施設、生活施設のいち早い復旧を求めた。

新型コロナ感染症の蔓延に影響される  
中小零細企業の経営状況の影響

市民生活の自粛による経済影響が深刻となることから訪問ヒアリングを行った。今後の支援策などの意見を聴取した。

- ・時短協力支援金の適切な活用
- ・関連事業者支援の適切な活用
- ・中小企業等事業からの相談、意見把握、指導をおこなった。

新型コロナ感染症対策

・学校、保育所、高齢者施設の換気対策とウイルス除去

<p>生活環境の維持</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染予防対策による財源のひっ迫から本事業がとりのこされることの無いよう、該当箇所の点検と調査をおこない行政側への働きかけを行った</li> </ul>
<p>農業関係基盤</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記同様、コロナ感染予防対策による財源のひっ迫から本事業が取り残されることの無いよう、該当箇所の点検と調査を行い行政側への働きかけをおこなった。</li> </ul>
<p>有害鳥獣対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害箇所の調査</li> </ul>
<p>農業生産物の産地形成と販売方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山本町、蔵王町、山形県天童市高畠町旭町、福島市、米沢市、中山町など</li> </ul>
<p>仙台日赤病院を含む4病院統合移転</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民及び有識者へのヒアリングをおこなった。 市民活動に対する情報提供</li> </ul>

## 令和4年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党  
議 員 名 西澤 啓文

政務活動テーマ	活 動 内 容
1. 観光施策について	コロナ後の国内外の観光客の仙台への誘客に向けての方策について調査・研究
2. スポーツ施設の整備について	民間活力導入も含め、更なるスポーツ施設整備を進めることで、市民のスポーツ活動をより活性化する方策について調査・研究
3. 中心市街地の再整備について	中心市街地の再整備に向けてビルオーナー等へのインセンティブを設けることでその促進を図る方策の調査・研究
4. 空き家対策について	現在特に大都市においてそのニーズが高まっている、入居予定者によるリノベーションを推進し、その有効利用を図る方策について調査・研究
5. 農業振興策について	農業振興に向けて、6次産業化への方策について調査・研究

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
6. 高齢者等の安全・安心の確保について	心身に不安をかかえる独り暮らし高齢者や重度の身体障害者の安全・安心確保策について調査・研究
7. 仙台港の利用促進について	仙台港の管理に本市がより積極的に関わることにより、この周辺への関連産業集積とそれによる雇用の促進を図る方策について調査・研究
8. 仙台空港の利用促進について	コロナ後の仙台空港の利用促進に向け、今後本市がどの様に関わることが必要かについて調査・研究
9. 物流拠点の機能強化策について	JR 貨物ヤード移転に伴い、その周辺も物流拠点としての整備を推進することで、東北の物流の一大集積拠点として機能するための方策について調査・研究
10. 新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染防止対策、コロナ禍及びコロナ後に向けての本市の経済対策



# 令和 4 年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 野 田 讓

政務活動テーマ	活 動 内 容
○観光振興について	感染状況や観光需要の動向等を踏まえて臨機応変に対応し、アフターコロナの経済再生のため、大きく落ち込んだ交流人口の回復・拡大を図るため調査・意見聴取等を行う。
○音楽ホールと震災メモリアル拠点の複合化について	杜の都を象徴する青葉山エリアの魅力をもっと高め、本市の都市個性を発信し、地域経済の活性化に向けた取組について調査等を行う。
○4病院再編について	・市内の2病院は、新型コロナウイルス感染症に係る対応についても大きな役割を果たす等、市民にとって重要な医療機関であり、市域外移転ともなれば本市の医療提供体制に重大な影響を及ぼすものであるため、仙台医療に与える影響などについて意見聴取及び意見交換を行う。
○施設の老朽化対策	・老朽建築物の割合が高まってビルの更新が進まない、建築費の高騰、賃料の低迷による収益性の悪化などに対する建替え促進助成金制度の具体的反応や反響等の調査等を行う。
○財政問題	・財源確保と財政規律の現状について調査・研究
○いじめ問題	・スクールカウンセラー等、計画的な人員拡充、いじめ対策選任教諭・児童支援教諭の拡充について引き続き調査研究
○子育て支援	・子育て支援制度と自治体行政、重要時医療の拡充に向けた調査。
○安全・安心な街づくり	防犯カメラを活用した犯罪抑止策や、緑地や公園の整備による安心感の向上。地域住民のコミュニケーションの促進を計り、犯罪の減少と市民の安心・安全を図る為の調査及び研究、意見徴収等を行う。
○その他市政全般	<p>☆上記項目等、継続的に調査研究</p> <p>☆その他、各種団体、仙台市内における地元活性化対策等、調査やヒヤリングを行い活動</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

# 令和4年度政務活動報告書

会 派 名 自由民主党  
議 員 名 橋 本 啓 一

仙台市を取り巻く、少子高齢化・人口減少の進展という厳しい状況にあって、民間と行政が力を合わせ新しい発想で経済をはじめ福祉、教育、そしてまちづくりなど、持続的な発展を実現する責務があります。又、新型コロナウイルス感染症の再拡大に備えるなど、市民生活をしっかり守る取り組みを強力に推し進めて参ります。

覚悟を持ち、市民一人ひとりの声に対応した市政運営を実行する為に、下記の各般にわたる調査研究を行いました。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>◆新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>○感染拡大防止と医療体制の整備について</p> <p>○雇用の維持対策と財政支援について</p> <p>○適切・迅速な情報発信について</p> <p>○新型コロナウイルスの検査体制の充実策について</p> <p>○医療・福祉の施策について</p> <p>○感染症への柔軟な対応について</p>	<p>コロナ禍の中で医療機関と高齢者・障害者福祉施設が連携した徹底感染防止について、事業者等と意見交換を行うとともに調査を進める。</p> <p>飲食店や中小企業等の資金繰りや経営の支援など、国からの支援協力金の拡充や政令市への直接交付支援に関する調査を進める</p> <p>新型コロナ対策の具体的かつ迅速な情報発信の取り組み方について調査を進める。</p> <p>民間事業者と連携したPCR検査の確立をはじめ、感染者の行動歴など、万全な疫学調査体制づくり、積極的情報開示のあり方に対する調査を行うとともに調査を行った。</p> <p>コールセンター体制の対応拡充、#7119電話相談体制の活用、ワクチン不足への対応等について、各都市の取り組み状況等を調査した。又、軽症者（自宅待機者）の早急な受け入れ体制の拡充と、自粛期間中の健康維持について聴取を行った。</p> <p>感染症法等に関する権限や運用について都道府県から政令市への委譲などについて調査を進める。</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○経済・雇用支援について	サービス業や飲食業、宿泊業等への経営支援や産業振興事業団を活用した地元中小企業への販路確保対策、又、テレワーク導入の為の支援について、調査を行う。
○教育、保育への支援について	AI型教材の導入によるオンライン教育の推進と児童クラブにおける人材と安全の確保、在宅児童の勉強のあり方について調査を進める。
◆市民生活の安全・安心の推進	
○地域コミュニティづくりと活性化対策について	高齢化が進展する町内会組織における地域の課題解決に向けた取組みとNPOや民間団体、PTA団体等の持つノウハウを生かした地域活動の取組みについて調査を進める
○区役所のサービス向上の取組みについて	区役所間の格付けを導入した、市民サービス向上の調査を行う。又、更なるワンストップ窓口を活かした、市民にわかりやすい窓口業務について、調査を進める。
○消防団、交通指導隊の機能強化と支援について	消防団、交通指導隊の充足率アップの取組みと、小中学校のPTAや子供会育成会、オヤジの会といった地域関係団体との連携・ネットワークづくりについて調査・研究を行う。
○地域の防犯・防災とその強化について	町内会をはじめ、体育振興会、子供会育成会、商店会、オヤジの会等の情報共有の取組みと互いの活動を補完し合う一体となった地域の安全・安心につなげる体制づくりの調査を進める。
○更なる投票率アップと適正な選挙事務改善について	大学生・専門学校生・高校生を対象とした若年層の投票率アップ等の取組みに関する調査を進める。
○自助・共助の仕組みづくりについて	中高大学生の力を活かした地域防災リーダーを育成し、地震や豪雨等の自然災害に備えた自主防災組織の体制強化について意見交換、調査研究を進める。又、女性の視点を踏まえた防災対策の調査を行うとともに、民間事業者と連携した帰宅困難者対策の充実について調査を行う。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○一般家庭ごみの排出抑制について	コロナ禍以降も減量とまらない一般家庭ごみについて、リサイクルできる製品プラスチック等の取り扱いについて調査を進める。
○海洋汚染への対応について	廃プラスチック類の排出抑制の取り組みと民間事業者の対応について調査を進める。
◆社会保障充実の推進	
○地域福祉の強化について	介護保険事業計画のもと、介護報酬や人材確保等の支援のあり方等について、調査を行う。又、地域包括ケアシステム構築に対応した包括支援センターの更なる機能強化策について各センターへの調査を進める。
○地域医療の充実について	市内における二次・三次救急の適正な配置バランスのあり方や、地域のかかりつけ医との連携強化の促進について調査を行う。又、市立病院におけるガン対策や一体的なうつ対策と、精神医療や小児救急医療と夜間こども救急診療所の体制強化について、調査研究を進める。
○障害者の就労支援について	障害者の資格取得支援や就労情報提供、民間事業者とのマッチング等、各種支援の効果的なあり方について調査・研究を行う
○介護サービスの充実について	介護報酬に左右されない介護サービス基盤の充実と体制づくりについて意見交換と調査を行った。又、認知症対策など介護予防事業や健康づくり施策拡充の調査を進める。
◆確かな教育体制と次世代育成の推進	
○教育環境の充実支援策について	生きがいづくり、民間団体の不登校対策の支援拡充策と経済的に困っている家庭の中高校生への「タダゼミ」等のNPO団体との連携による支援策について聴取・調査を行う。
○子育て環境支援の拡充について	幼児教育と保育の無償化に伴う財政支援のあり方や、子ども医療費助成への拡大的財政措置に関する意見交換を行い調査を進める。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○地域における子育て支援について	<p>児童センターと小学校における放課後子供教室のあり方、そして、地域資源（人材）を活かした子育て支援のバックアップ等に関する調査研究を進める。又、待機児童対策として、幼稚園から認定こども園のスムーズな移行や延長保育、休日夜間保育の充実、保育所の拡充に伴う人材と質の確保に向けた待遇改善、又、認定こども園への移行に向けた環境、整備に関連し、事業者への聴き取り、調査を行う。</p>
○子どもの貧困対策について	<p>経済的困窮家庭の子供の経済状況や支援に取り組む民間団体の活動の調査を進める。 又、学習支援を実施している民間ボランティア団体についての情報収集や取組みについても調査を行う。</p>
○教育環境の整備について	<p>少人数学級の推進といじめ問題の対策強化、特別支援教育の充実、不登校対策について意見聴取・調査を行う。学校支援地域本部の対象校拡大と不登校対策に関連したスクールソーシャルワーカーの強化について研究調査を行う。ICTを活用した教育環境づくりについても民間事業者との意見交換を行う。</p>
○いじめ対策について	<p>いじめ対策専任教諭の活用方法の検証、フリースクール等の取組みや特別支援コーディネーターの適正配置、特別支援教育の更なる推進に関する調査研究を進める。</p>
◆地域経済の活性化の推進	<p>東北の核となる仙台市の果たす役割と広域連携・交流を踏まえた取組みや誘客促進策について、有識者等からの意見聴取を進める。</p>
○アフターコロナを見据えた経済観光対策について	
○デジタル化に向けた実施支援策について	<p>マイナンバーカード活用による手続きの効率化やデジタル化の基盤整備の支援、ICT教育の推進に関する調査を行う。</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○地域経済活性化に向けた経済政策	東北放射光施設活用による活性化策や東北圏域内における観光・経済交流の連携によるイノベーション都市実現に向けた取組に関する調査を行う。
○中小企業の体力強化について	中小企業の抱える資金繰り等の課題や販路拡大に対する支援のあり方、更に産業振興事業団等との積極的な連携について検証と調査を進める。
○農業施策の振興等について	高齢化の進行による農地の耕作放棄地対策や後継者不足に対応した人材育成策、又、農地の集約、市民農園への転用など、現状を踏まえた課題解消に向けた調査を行う。
○賑わいと活力のある経済の活性化について	国家戦略特区の活用や、在仙大学間の連携による都市の競争力強化策や仙台駅前の再開発を踏まえた市中心部の活性化について（地下街の検討を含め）調査研究を進めるとともに、交流人口拡大等について調査を行う。
○広域連携と観光交流拡大について	アフターコロナを見据えた東北圏域の広域的連携強化や仙台空港、仙台港の積極的活用によるインバウンド、アウトバウンドの一体的な推進について、調査を進める。
○若者への就労支援について	キャリアカウンセリングを支援する「若者サポートステーション」の利用促進や若者への情報提供などを行うジョブサポーター強化の調査を進める。
○深刻化する介護福祉分野での人手不足対策について	福祉現場での即戦力となる外国人人材の受け入れを希望する福祉関連事業者からの意見を聴取するとともに、外国人研修生募集の取組みについて調査を進める。
◆未来への魅力あるまちづくり	
○公共交通の利便性向上と利用促進について	市中心部の渋滞解消にむけて、地域ごとの効果的なバス、地下鉄の連携強化やIC乗車券イクスカ等を活用した活性化策について調査、研究を進める。又、民間事業者等が取り組む地域循環バスの有効性の検証や活用について、調査研究を行う。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○地震、豪雨への対策について	頻発するゲリラ豪雨や浸水への対策について、民間事業者のノウハウや技術を活かした取組みについて調査を進める。
○道路、橋梁、トンネル、公園等の長寿命化対策について	老朽化が進む道路関連施設の適切な長寿命化の取組みについて調査を行う。又、長寿命化強化の為の財政的強化策としてネーミングライツ等の積極的導入の調査を進める。
○市郊外のまちづくりと空き家対策について	進行する人口減少や高齢化対策として郊外における住みかえや空き家の有効活用について不動産業界団体との意見交換会を行い調査を進める。
○文化施設の充実について	文化振興の拠点となる音楽ホールの早期建設に向けた課題のあらいだしと先進地の取組み事例等の調査を進める。
○都市計画道路の見直し後の整備について	都市計画道路が廃止された既存道路の早期の再整備と廃止予定の先行取得用地の有効活用等について調査を行う。
○街路樹の適正な管理について	市内各所に見られる根上りの対策と老化した街路樹の更新のあり方の取組みについて調査を進める。
○市街化調整区域の現状について	市街化調整区域における建築違反状況の調査を行うとともに、地域の実状に応じた土地利用のあり方について調査を進める。
○税の視点を踏まえた空き家対策について	空き家対策として、固定資産税や都市計画税の課税の取組みについて聴取を行う。
◆健全な財政運営と財政基盤、そして行政改革 ○責任をもった財政運営について	国からの税源移譲等のあり方を調査するとともに、事業の源泉化や民間活力の活用を通じた財政健全化に向けた調査を行う。
○行財政改革の一層の推進と市議会の活性化について	民間委託の推進や市役所体質の改革、コンプライアンス遵守徹底の為の意見交換を行う。又、区役所の土、日開放や平日の窓口業務の時間延長等の拡充についても調査を進める。 公共施設マネジメントや市有建築物の長寿命化の推進について調査を行う。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

## 令和4年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党  
議 員 名 加藤 和彦

政務活動テーマ	活 動 内 容
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新型コロナウイルス感染症の再拡大の防止と収束に向けた対策</li><li>・ 中小企業支援対策</li><li>・ アフターコロナを見据えた経済対策</li><li>・ 東北連携、仙山連携の強化</li><li>・ 豪雨、防災対策</li><li>・ 教育、子育て環境対策</li><li>・ 農業振興</li><li>・ 有害鳥獣対策</li><li>・ 区役所機能強化</li></ul>	<p>○地域街づくり ○西部地域仙山連携強化 ○郊外型都市構造の強化 ○地域、町内会、各種団体</p> <p>仙台市域内外における地域活性化対策など、現地調査、ヒアリング、インターネット等を使用し調査活動を行いました。</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。